# 令和6年度善行地区自治会連合会情報交換会 グループ発表まとめ



## A

#### 大庭東町、善行団地、石川東、善行台、善行中原、富士見台

- 町内会をこれからどうしていくかという内容を話し合った。新しく転居してきた方が加入しない、団地は高齢化が進んでいて役員を引き受けられない人が多くなっているという現状がある。"入らなくても困らない""入ったら役が回ってくる"ということがネックなのではないか。対策の具体案はなかなか出ないが、社会状況に合わせて町内会の在り方を検討し、変えていかなければならない。
- お祭りと防災訓練を兼ねて規模の大きなイベントを開催している自治会もある。自治会によっては規模的に難しい場合もあるが、その地区でできることを取り組んでいく必要がある。
- 防災については、会員それぞれが防災意識をもつような取り組みが大事。また、防災は火事を起こさないことも重要であるため、そこに重きを置いた防災対策が大事だという意見があった。

B

#### 善行、伊勢山辺中央、善行駅前、善行本入、立石ハイツ、ひじりヶ丘、 富士見が岡、平和台、八洲台

- 善行地区の自治会加入率の低さについては、積算方法や定義などの具体的な数字が知りたい。
- 自治会の規模が小さく、高齢化も進んでいるため近隣自治会と統合を検討したいという意見があった。
- 会員への連絡方法について、坂が多くて回覧板を回すことが難しくなってきている方もいるため、代替え案として掲示板への掲示を考えたが設置場所確保が課題となっており、これからの連絡方法をどうしようかと悩んでいる。
- 高齢化や役員の引継ぎはグループ内の自治会・町内会でも問題ととらえている。役員の輪番制や年齢制限の導入も検討してはどうかという意見があった。



#### 石原台、石原谷、大原、県営善行唐池ハイツ、善行南、桃源郷、 藤沢善行ニューライフ、ロータリーパレス藤沢

- 自主防災会を再整備して活発に活動している自治会があり、そこでは自治会の役員とは別の自主防災会の各班長が中心となって月に1回の集まりや各家庭への防災マニュアルの配布を行っている。
- 防災に関する活動を行っていない自治会に向けて、安否確認訓練などの比較的取り組みや すいものから始めてはどうかというアドバイスがあった。
- 加入状況については、多くの人が加入している状況にあるが、高齢を理由に退会を希望する人も増えているため、その対策を検討しないといけないとの意見があった。日頃の共助も重要との考えから、人の集まるイベント等を行うことも大事だという意見があった。



亀井野団地、亀井野住宅、渋沢台、新富士見、立石、ベルヴィル、 伊勢山辺、第一伊勢山辺

- 善行地区の自治会加入率の話をうけて、片瀬や鵠沼などの他の加入率が高い地区の話、具体的になぜ高いのかという話が聞きたい。低い地区同士(善行地区内)で話し合ってもなかなかいいアイデアは浮かばないと思う。また、加入促進のために事業をやるとしても、たまたまその年に会長になった人がやらなければならず、こんなに大変だったらもう入りたくないという悪循環にもつながると思う。例えアイデアはでても誰がやるのかという課題がある。
- 市全体の自治連の会議などで、他地区の情報を聞いてきてほしい。上手くいっている事例 があれば引き続き情報共有をお願いしたい。

### E

石名坂、石名坂南、ココタウンヒルトップマリーナ、 ココタウンヒルトップアベニュー湘南藤沢、オーシャンヒルズ、稲荷

- グループ内の自治会加入率は90%以上となっており、平均年齢は若い自治会も高齢の自治会もある。自治会は新陳代謝していくと考えている。高齢の方が住んでいた土地がいくつかに分譲されて若い世帯が入り、人口も増えていく。新陳代謝とともに自治会も加入メリットを変化していく必要がある。メリットがない、会費を払う意味がないと思われないようにする工夫が必要で、このグループではそれぞれの自治会で工夫をしている。グループ内の全自治会が会長は輪番制で、役員などの負担は会員の中で均等になるようにしている。
- 1つの自治会では防災訓練は安否確認訓練とレクリエーションを合わせて行う予定で、安 否確認訓練をした後に、公園でかき氷などレクリエーションを実施する。また、隣の自治 会と合同で訓練を行い、規模を大きくして起震車をよぶということも行っている。
- コロナ前まで行っていた6自治会合同の防災訓練を再開しようという話し合いをした。
- 自治連にぜひ考えてほしいこととして、発災後に各自治会町内会がどのように行政から物 資の支援を受けるのか把握しているのか、シミュレーションできているのか。
- 自治会の加入率を上げるには、入っているメリットを感じられるような工夫が必要不可欠 だと思う。